

平成24年2月資金需給見込み

平成24年2月3日
セントラル短資株式会社 総合企画部

(単位:億円)

	2月中見込	前年実績	前年比
銀行券要因	△ 1,300	△ 2,789	1,489
財政等要因	△ 94,300	△ 40,010	△ 54,290
国債等	△ 82,800	△ 80,103	△ 2,697
国庫短期証券等	△ 40,800	14,893	△ 55,693
その他要因	29,300	25,200	4,100
資金過不足	△ 95,600	△ 42,799	△ 52,801

(日本銀行「日銀当座預金増減要因」より)

- ・ <銀行券要因> 1,300億円の発行超見通し。2月末の銀行券発行残高前年比見込みは1.9%。
- ・ <財政等要因> 国債や国庫短期証券の発行超過が、年金定時払いを上回ることから94,300億円の揚げ超見通し。
- ・ <資金過不足> 以上の結果2月は95,600億円の資金不足見通し。

参考:「財政等要因」のうち「その他要因」の主要項目

(単位:億円)

一般会計項目	2月見込	前年同月	前年同月比	特別会計項目	2月見込	前年同月	前年同月比
租 税	△ 25,020	△ 22,778	△ 2,242	財政投融资	△ 7,760	△ 1,164	△ 6,596
公共事業	1,640	803	837	社会資本整備	1,180	1,042	138
地方交付金	900	1,437	△ 537	外 為	-	△ 1,666	1,666
社会保障	9,010	11,691	△ 2,681	保 険	25,130	25,328	△ 198
その他支払	16,000	12,795	3,205	その他	3,690	△ 3,089	6,779

(財務省理財局「財政資金対民間収支」より)

- ・ 国債・国庫短期証券等は合算で123,600億円発行超見通し。償還額は306,000億円程度(弊社推定、日本銀行での償還分を除く)と見られ、発行額は直接引受分を含めて429,600億円程度となる模様。

国債発行予定額 (市中公募額、単位:億円)

期 間	40Y	20Y	10Y	5Y	2Y	流動性供給
発行額	4,000	11,000	22,000	25,000	27,000	6,000
期 間	TB1Y	TB6M	TB3M	TB2M		
発行額	25,000	35,000	240,000	25,000		

国債・国庫短期証券償還額 (単位:億円)

種別	国債	TB1Y	TB6M	TB3M	TB2M
償還額	21,000	21,000	35,000	204,000	25,000

* 償還額は弊社概算

* 償還額は日銀における償還分9,336億円(弊社算出)を除いた、市場で償還される金額

- ◎ 2月の主な不足予定日は、2日(税・保険料揚げ)、7日(10Y発行)、20日(TB3M、TB1Y発行超過)、21日(5Y発行)、28日(20Y発行)。一方、主な余剰日は、15日(年金定時払い)。

◎ 2月の市場予想

<コール市場>: 月の前半は、当座預金残高が30兆円を下回っているものの、資金余剰感が強くONレートは低位安定して推移しよう。後半も年金定時払いの影響により、落ち着いた展開で推移するものと思われる。

<CP市場>: 事業法人のCPでの資金調達意欲が見られ、市場残高は高めで推移していることから、レートは底堅い動きになろう。3M物の発行レートはa-1格以上の事業法人で0.11~0.12%、ノンバンクで0.115~0.125%程度。

<短期国債市場>: 足元金利は低位横ばいで推移しており、堅調な入札が予想される。現状は3M~1Yが0.10%の動き。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関 関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入